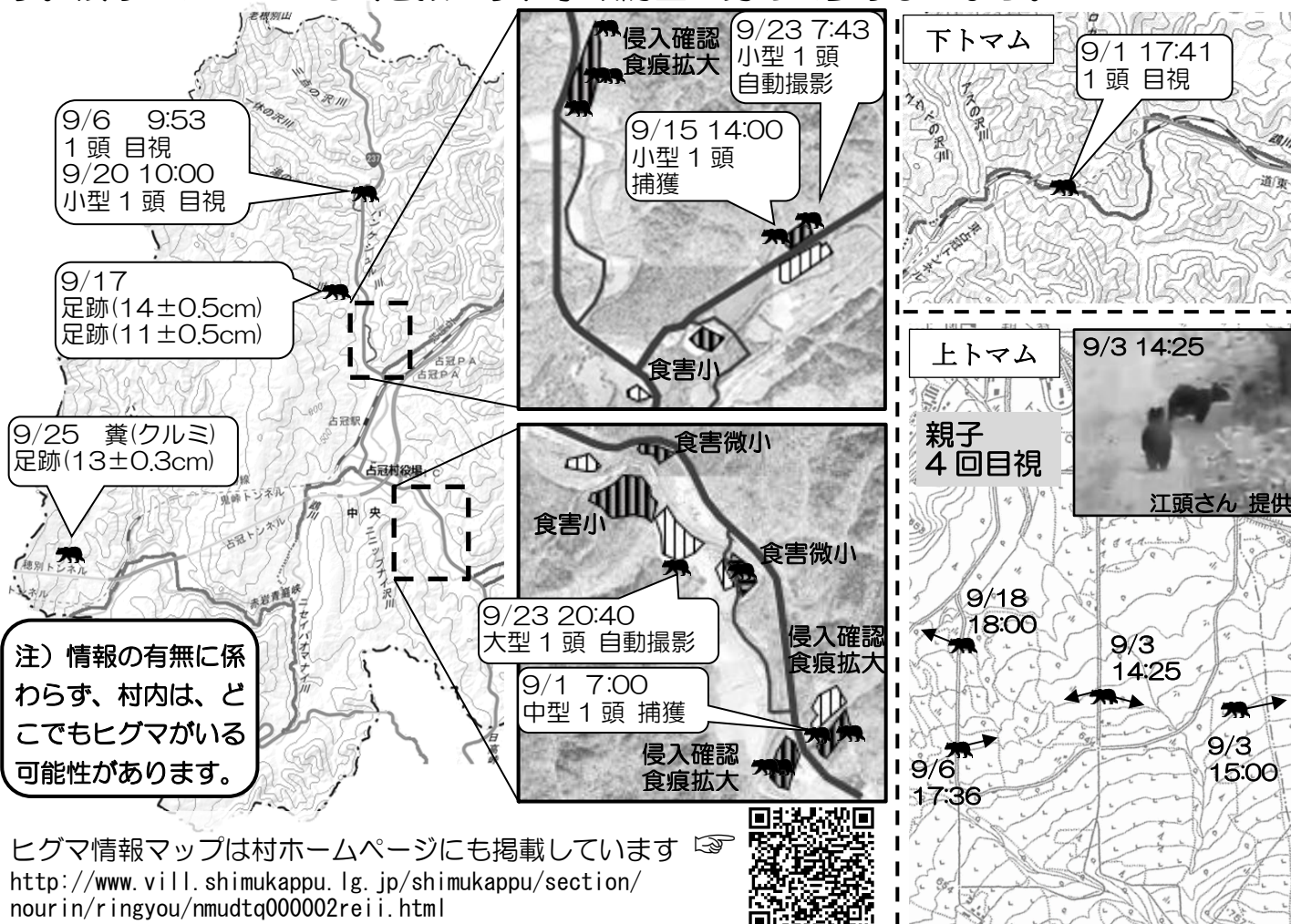


ヒグマについてのお知らせ Brown Bear information

村内のデントコーン圃場被害は例年より少なく、発生地点も限定的でした。9月半ばの収穫後も圃場周辺での活動が確認されています。上トマムでは、前月までと同じとみれる親子グマが断続的に目視されており、引き続き注意が必要です。

これからの季節は、一般にヒグマが冬眠前に多くの餌を求めて行動範囲が広くなるといわれる時期です。今年のミズナラのドングリはやや不作ですが、クルミやコクワ、ヤマブドウなどの実なりは良い印象で、ヒグマの動きが把握しづらい状況です。残りのシーズンも気を抜かず、事故防止に努めて参りましょう。



次のような状況はすぐに対策が必要です。

- ☀ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- ☀ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- ☀ 人に気付いても逃げない。
- ☀ 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- ☀ 持ち物を奪われた。
- ☀ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- ☀ 人や家畜、ペットが襲われた。
- ☀ ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。
状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。

占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
☎0167-56-2174
占冠 駐在所
☎0167-56-2110

次のような状況では、静観できると考えられます。

- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- 山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。

紅葉まつり(10/4) ひぐまテント

出展します!!



- ・こども安全射的教室
- ・パネル展示・塗り絵
- ・野生鳥獣専門員常駐